

問題（総合原価計算・2級）

当社は、工程別総合原価計算を採用している。下記の資料にもとづいて、答案用紙の各勘定の記入を完成させなさい。なお製造部門費の配賦差異は当月の売上原価に賦課する。

〔計算条件〕

1. 材料はすべて第1工程の始点で投入され、加工費は加工進捗度に比例して消費される。
2. 第1工程完了品は、全量がただちに第2工程に投入され、加工されて製品になる。
3. 正常仕損の処理は度外視法によっている。
4. 材料払出高の計算と第1工程の原価配分は先入先出法によっており、製品払出高の計算と第2工程の原価配分は平均法によっている。
5. 月初勘定残高（一部）は、次のとおりである。。

材	料	485,500円					
未	払	賃	金	給	料	976,000円	
前	払	経	費	580,000円			
第1	工程	仕	掛	品	290,000円	（材料 231,000円、加工費 59,000円）	
第2	工程	仕	掛	品	2,641,760円	（前工程費 2,076,000円、加工費 565,760円）	
製	品	3,348,000円	（800個）				

〔当月取引〕

1. 当月中に材料10,000kgを410円/kgで掛けにより購入した。月末有高は750kgであった。棚卸減耗損はなかった。
2. 当月中の賃金給料の支払額は6,516,000円であった。月末における未払賃金給料は960,000円であった。賃金給料はすべて加工費であり、その消費高のうち50%は第1工程、30%は第2工程、10%は電力部門、10%は修繕部門の消費高であった。
3. 当月中の経費支払額は2,480,000円であった。月末の前払経費は560,000円であった。経費はすべて加工費であり、その消費額のうち32%は第1工程、40%は第2工程、20%は電力部門、8%は修繕部門の消費高であった。
4. 当月発生の減価償却費1,500,000円の内訳は、第1工程が400,000円、第2工程が600,000円、電力部門が300,000円、修繕部門が200,000円であった。

[部門別データ]

当社には製造部門として第1製造部門と第2製造部門、補助部門として電力部門と修繕部門を設置しており部門別計算を行っている。なお、第1製造部門は第1工程を、第2製造部門は第2工程を担当している。

補助部門費は直接配賦法によって実際配賦しており、その配賦割合は以下のとおりである。

	第1製造部門	第2製造部門
電力消費量	40%	60%
修繕作業時間	60%	40%

第1製造部門費と第2製造部門費は、直接作業時間にもとづいて予定配賦を行っている。各製造部門の年間予算と年間予定操業度は次のとおりである。

	第1製造部門	第2製造部門
年間予算額	72,000,000円	57,600,000円
年間予定操業度	48,000時間	48,000時間
当月の実際直接作業時間	3,720時間	3,888時間

[当月生産データ]

1. 当月の生産データは以下に示したとおりである。()内は加工費の進捗度である。
2. 正常仕損は第1工程では工程の途中点で発生する。なお仕損品評価額は無い。
3. 第2工程では工程の終点で副産物が発生する。副産物の見積売却価額は1個あたり2,500円、見積販売費は1個あたり520円である。

	第1工程	第2工程
月初仕掛品	200個(20%)	800個(50%)
当月投入	3,760	3,600
合計	3,960個	4,400個
正常仕損品	40	
副産物		80
月末仕掛品	320(50%)	560(80%)
完成品	3,600個	3,760個

[当月販売データ]

1. 製品4,000個を@6,000円で販売した。
2. 副産物はその全量を見積売却価額で販売した。販売費も予定どおりであった。

答案用紙

材料

前月繰越	()	仕掛品	()
買掛金	()	次月繰越	()
	()		()

賃金給料

諸口	()	前月繰越	()
次月繰越	()	第1製造部門費	()
	()	第2製造部門費	()
	()	電力部門費	()
	()	修繕部門費	()
	()		()

経費

前月繰越	()	第1製造部門費	()
諸口	()	第2製造部門費	()
減価償却累計額	()	電力部門費	()
	()	修繕部門費	()
	()	次月繰越	()
	()		()

第1製造部門費

賃金給料	()	第1工程仕掛品	()
経費	()	配賦差異	()
電力部門費	()		()
修繕部門費	()		()
	()		()

第2製造部門費

賃金給料	()	第2工程仕掛品	()
経費	()	配賦差異	()
電力部門費	()		()
修繕部門費	()		()
	()		()

電力部門費

賃金給料	()	第1製造部門費	()
経費	()	第2製造部門費	()
	()		()

修繕部門費

賃金給料	()	第1製造部門費	()
経費	()	第2製造部門費	()
	()		()

第1工程仕掛品

前月繰越 ()	第1工程完了品 ()
材料 ()	次月繰越 ()
第1製造部門費 ()	
()	()

第2工程仕掛品

前月繰越 ()	製品 ()
第1工程完了品 ()	副産物 ()
第2製造部門費 ()	次月繰越 ()
()	()

副産物

第2工程仕掛品 ()	売上原価 ()
-------------	----------

製品

前月繰越 ()	売上原価 ()
仕掛品 ()	次月繰越 ()
()	()

売上原価

製品 ()	損益 ()
副産物 ()	
第1製造部門費 ()	
第2製造部門費 ()	
()	()

損益

売上原価 ()	売上 ()
販売費 ()	

解答

材料

前月繰越	(485,500)	仕掛品	(4,278,000)
買掛金	(4,100,000)	次月繰越	(307,500)
	<u>(4,585,500)</u>		<u>(4,585,500)</u>

賃金給料

諸口	(6,516,000)	前月繰越	(976,000)
次月繰越	(960,000)	第1製造部門費	(3,250,000)
		第2製造部門費	(1,950,000)
		電力部門費	(650,000)
		修繕部門費	(650,000)
	<u>(7,476,000)</u>		<u>(7,476,000)</u>

経費

前月繰越	(580,000)	第1製造部門費	(1,200,000)
諸口	(2,480,000)	第2製造部門費	(1,600,000)
減価償却累計額	(1,500,000)	電力部門費	(800,000)
		修繕部門費	(400,000)
		次月繰越	(560,000)
	<u>(4,560,000)</u>		<u>(4,560,000)</u>

第1製造部門費

賃金給料	(3,250,000)	第1工程仕掛品	(5,580,000)
経費	(1,200,000)	配賦差異	(80,000)
電力部門費	(580,000)		
修繕部門費	(630,000)		
	<u>(5,660,000)</u>		<u>(5,660,000)</u>

第2製造部門費

賃金給料	(1,950,000)	第2工程仕掛品	(4,665,600)
経費	(1,600,000)	配賦差異	(174,400)
電力部門費	(870,000)		
修繕部門費	(420,000)		
	<u>(4,840,000)</u>		<u>(4,840,000)</u>

電力部門費

賃金給料	(650,000)	第1製造部門費	(580,000)
経費	(800,000)	第2製造部門費	(870,000)
	<u>(1,450,000)</u>		<u>(1,450,000)</u>

修繕部門費

賃金給料	(650,000)	第1製造部門費	(630,000)
経費	(400,000)	第2製造部門費	(420,000)
	<u>(1,050,000)</u>		<u>(1,050,000)</u>

第1工程仕掛品

前月繰越 (290,000)	第1工程完了品 (9,540,000)
材料 (4,278,000)	次月繰越 (608,000)
第1製造部門費 (5,580,000)	
<u>(10,148,000)</u>	<u>(10,148,000)</u>

第2工程仕掛品

前月繰越 (2,641,760)	製品 (14,664,000)
第1工程完了品 (9,540,000)	副産物 (158,400)
第2製造部門費 (4,665,600)	次月繰越 (2024,960)
<u>(16,847,360)</u>	<u>(16,847,360)</u>

副産物

第2工程仕掛品 (158,400)	売上原価 (158,400)
---------------------	------------------

製品

前月繰越 (3,348,000)	売上原価 (15,800,000)
仕掛品 (14,664,000)	次月繰越 (2,212,000)
<u>(18,012,000)</u>	<u>(18,012,000)</u>

売上原価

製品 (15,800,000)	損益 (16,212,800)
副産物 (158,400)	
第1製造部門費 (80,000)	
第2製造部門費 (174,400)	
<u>(16,212,800)</u>	<u>(16,212,800)</u>

損益

売上原価 (16,212,800)	売上 (24,200,000)
販売費 (41,600)	